郷土博物館収蔵資料展

渡邉錠太郎と杉並



▲二・二六事件時の弾痕が残る籃胎漆器座卓



▲教育総監になった頃の錠太郎と次女の和子（自宅の庭にて）

昭和10年に教育総監に就任した陸軍大将・渡邉錠太郎は、翌年に発生した二・二六事件において荻窪の自宅で凶弾に倒れました。本展示では、渡邉錠太郎とその邸宅の設計に関わった柳井平八について、区指定文化財の収蔵資料を中心に紹介します。

日時 12月12日(土)～9年2月14日(日) 午前9時～午後5時（休館日、年末年始を除く）

場 郷土博物館（大宮1-20-8） 費 100円（中学生以下無料）

戦争回避の重要性を説いた渡邉錠太郎とは？

渡邉錠太郎は、陸軍幹部として陸軍大学校長・教育総監などを歴任しました。読書家で「学者将軍」と呼ばれ、第一次世界大戦末期から終戦直後にかけてヨーロッパに赴任した際、敗戦国のみならず戦勝国も窮乏する情勢を目の当たりにし、「非戦論」を唱えたことでも知られています。

問 同博物館☎3317-0841

杉並×忍野 子ども交流ツアー の参加者募集







区の交流自治体である山梨県忍野村と杉並区の子どもたちの交流体験イベントを開催します。

日程 9年1月16日(土)・17日(日)（1泊2日）

内容 ほうとう作り体験・森の中の水族館鑑賞・伝統文化体験ほか

場 山梨県忍野村▶**集合・解散**＝区役所 対 区内在住・在学の小学4～6年生 定 15名（抽選） 費 8000円

申 申し込みフォーム（右2次元コード）から、12月4日まで 問 文化・交流課多文化共生・交流推進担当☎3312-9415

あなたの声×区長の声

区民の皆さんからいただいた声に、区長がお答えします。



今回のテーマは…

広報・広聴

区民の皆さんからの声

仕事・子育てなどで忙しく、区の情報を見逃してしまうことがあります。また、アンケートなどで意見を伝えても、その声が区政にどのように生かされているのか分かりません。今後どのような情報発信を進めていくのでしょうか。

※実際の声を一部編集しています。

ご意見ありがとうございます

忙しい毎日の中で、必要な区の情報を自分で探し出すのは大変です。区ではLINEを活用し、一人一人の関心に合った情報を届けるセグメント配信を行っています。ぜひご活用ください。

同時に、私は皆さんから寄せられる声が、区政をつくるための大切な資源だと考えています。一つ一つのご意見がそのまま施策になるわけではありませんが、さまざまな立場から寄せられる多様な声は、地域の課題を知り、より良い政策をつくるための力になります。

大切なのは声を聴いて終わりにせず、頂いた声をどう受け止め、区が何を考え、どのように政策につなげたのか。そして、何が変わったのか。そうしたことを、もっと分かりやすく皆さんにお返ししていきたいと思います。さまざまな場でいただく声とその声をどのように生かしたかを見える形で共有する工夫も進めながら、「伝える」「聴く」「生かす」「返す」という循環をつくっていきます。

杉並区長　岸本 聡子

